

「実学！6次化リーダー養成塾」とは

農都共生総合研究所と東京農業大学オホーツク実学センターは、平成24年度に引き続き、平成25年度、農林水産省の新事業創出人材育成事業（北海道ブロック）に採択され、「アグリビジネス — MBA — 実学！6次化リーダー養成塾」という北海道の農林水産資源を活用した新事業創出を担う人材の育成を行った。

本事業では、実践や実体験を重視した講義を提供すると共に、地域の自治体をはじめとする産学官民の人材育成ネットワークを構築することによる、6次産業化や新事業を創出する人材への継続的な支援を行い、北海道にある「資源」を効率的かつ最大限に活用することにより、新たな付加価値を創造し、雇用の確保・所得向上を図る「6次化リーダー」の育成を目指すものである。



プログラム内容

科目1～4まで、講座、ワークショップおよび実習を含む全60講座を行った。

- 科目1 「1・2・3次産業基本論」
- 科目2 「経営・マーケティング基本論」
- 科目3 「6次産業化実践編」
- 科目4 「新事業創出実践編」

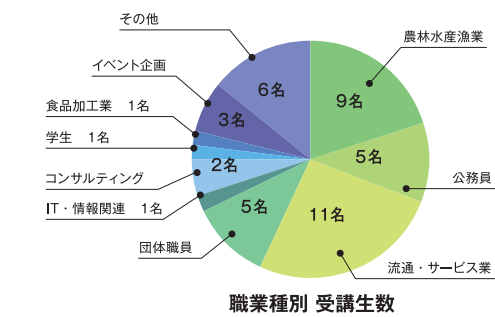
講座中には適宜、受講生同士の自己内発的なディスカッションを取り入れ、また講座外の時間を活用しオフィスアワーによる個別事業プランに対するメンタリングも実施。オフィスアワーは受講生の約半数が利用し、個人の事業構想の具体化・可視化等サポートを行った。

受講対象

- 農林漁業や商工業の事業経営を志している方（現職含む）
- 普及指導員、営農指導員、経営指導員、中小企業診断士などを志している方（現職含む）
- 農学や経営学などの基礎的知識を習得した学生・学卒者

受講生属性

北海道各地より、昨年度に引き続き40名を超える全44名が本講座を受講し、内40名が修了。農林水産漁業従事者6名、普及指導員などの公務員5名、流通・サービス従事者11名、食品加工業1名と、「農業」「食」および「サービス」に関連する仕事に従事されている方が過半数を占めている。



また、受講生の年齢別属性については、40代の15名が最も多く、以下30代および50代がそれぞれ9名、30～50代の働き盛りの世代がバランスよく集まっていることが分かる。また、20代の参加も5名と、若い世代の関心の高まりも窺える。男女比は、男性24名に対し女性が18名となっている。

